

# 施策の評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード 051134
		施策	34	文化の振興	本冊ページ 84
		関連個別計画	津市教育振興ビジョン前期基本計画		
担当部局		スポーツ文化振興部、教育委員会			
施策の内容(番号)		107		~	110

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
107	音楽、美術、演劇、舞踊、映画、能楽など多彩な文化芸術の鑑賞機会や市民の学び・創作・発表の場及び機会を創出するとともに、関係機関と連携を図り、文化芸術の創造を担うリーダーや若い世代の育成に加え、効果的な情報発信を行い、市民が主体的に参加する活動の輪を広げます。	B	②	文化振興課
108	各地域における文化ホールなどの文化施設は、地域や施設の特性に応じた効率的な維持管理を行いながら、より利便性が高い利用形態への見直しや民間の専門的なノウハウの導入を図り、実演芸術の振興を核として公演の企画運営等を行い、芸術文化の創造・発信拠点としての機能を強化します。	A	①	文化振興課
109	地域の伝統文化や伝統芸能の保存継承、普及に向けて、市民の発表や学習の場を創出し、後継者を育成します。	B	①	文化振興課
110	歴史資料等については、発掘・収集、適切かつ効率的な保存・管理に努め、積極的な活用・情報発信による地域内外の文化交流を進めます。	B	①	生涯学習課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満  
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	D	A					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		管理コード	051134107
	計画	基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成		本冊ページ	84
		施策	34	文化の振興			
	関連個別計画						
担当部局	スポーツ文化振興部						
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	107	音楽、美術、演劇、舞踊、映画、能楽など多彩な文化芸術の鑑賞機会や市民の学び・創作・発表の場及び機会を創出するとともに、関係機関と連携を図り、文化芸術の創造を担うリーダーや若い世代の育成に加え、効果的な情報発信を行い、市民が主体的に参加する活動の輪を広げます。					

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	△ 実施評価	
担当課			何	誰	◇ 事業評価の主な視点	○ 事業評価	
					決算額 (千円)	今後の方向性	
107-1	市民文化祭等開催事業	市内文化施設にて市民文化祭を開催	効	実行委員会が、市民の芸術創作・発表の場を提供し、成果を発信する	◆ 事業数28事業	△	令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に社会活動も正常化し、参加者数が大幅に増加した。 令和5年度について、新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、引き続き参加者数の増に務める。
	誰		市内外の人々が	◇ 参加者数	△		
	文化振興課		何	事業への参加を通じた芸術創作活動の活発化	2,030 (千円)	現状維持	
107-2	美術展覧会開催事業	美術展覧会の開催	効	実行委員会が、市民の芸術創作・発表の場を提供し、成果を発信する	◆ 作品出品数250点	○	令和4年度については242点の出品があり、久居アルスプラザにて開催し、8割の来場者に満足していただいている。 令和5年度についても、同様に久居アルスプラザにて開催予定しているが、出品数の増に努める。
	誰		市内外の人々が	◇ アンケート満足度	◎		
	文化振興課		何	出品や鑑賞をすることにより、市民文化の向上を図る	4,169 (千円)	現状維持	
107-3	津市民薪能開催事業	伝統芸能鑑賞会として市民薪能を開催	効	実行委員会が、歴史的資源を活用し、薪能を開催する	◆ 参加人数 400人	×	未実施。令和5年度以降久居アルスプラザ自主事業へ移行を検討
	誰		市内外の人々が	◇ アンケート満足度	×		
	文化振興課		何	事業の鑑賞を通じて伝統芸能への関心を高める	0 (千円)	見直し	
107-4	文化振興基金事業	基金を活用した文化活動に対する補助等	効	基金の補助採択者が、補助金を活用し、催し物などを行う	◆ 申請件数5件	○	新型コロナウイルス感染症の影響により、従前の件数(5件程度)に戻らず、令和4年度は補助件数は3件となった。 令和5年度については、5類移行による行動規制緩和に伴い、増加が見込まれ補助件数7件を予定しています。
	誰		市民及び市内団体が	◇ 補助実績(決算額/予算額*100)	○		
	文化振興課		何	文化芸術の発表などの活動をしやすいとする	561 (千円)	現状維持	
107-5	霧山薪能開催事業	伊勢国司北畠氏にゆかりのある能・狂言などの伝統芸能及びお茶会等を北畠神社にて開催	効	実行委員会が、歴史的資源を活用し、薪能などを開催する	◆ 参加者数350人	×	令和4年10月1日(土)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止。 令和5年度については令和5年10月14日(土)に開催。
	誰		市内外の人々が	◇ アンケート満足度	×		
	文化振興課		何	事業の鑑賞を通じて歴史や北畠氏館跡庭園などへの関心を高める	0 (千円)	現状維持	

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

107-6	郷土芸能ふれあいフェスティバル開催事業	各地域に伝わる郷土芸能や食文化を主とした物産を一同に集め、郷土の歴史や文化を紹介するフェスティバルを市内各地域で年1回開催	効 実行委員会が、各地域の郷土芸能や食文化を生かしたフェスティバルを開催する	◆ 参加団体数15団体	◎	令和4年度については久居アルスプラザにて開催し、参加団体数は18団体、入場率は136%を記録した。令和5年度については令和6年3月3日(日)に津リージョンプラザにて開催予定。
	文化振興課		誰 市内外の人々が	◇ 入場率(入場者数/会場定員*100)	◎	
107-7	青少年文化創造拠点形成事業	青少年が早い時期から文化やホールに親しむ機会を提供することにより若い世代の育成につながるようホールイベントを開催	効 実行委員会が、文化ホールを活用し、津市青少年文化芸術祭を開催する	◆ 参加団体数12団体	◎	令和4年度については津リージョンプラザにて開催し、参加団体数は13団体、入場率は103%を記録した。令和5年度については令和6年1月28日(日)に津リージョンプラザにて開催。
	文化振興課		誰 市内の小学生、中学生、高校生が	◇ 入場率(入場者数/会場定員*100)	◎	
107-8	津市民文化発行事業	総合文化誌「津市民文化」を発行	効 津市民文化編集委員会が、企画・編集を行い、市が発行する	◆ 年1回発行	◎	令和4年度は、前年度から140冊増え、373冊を販売した。特集内容により、販売数が影響することもあり、今後も市民が興味を持たれるよう記事、構成に取り組みます。
	文化振興課		誰 市内外の人々が	◇ 無料配布数+販売数	○	
107-9			効	◆		
			誰	◇		
107-10			効	◆		
			誰	◇		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)  
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない  
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	B
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	②
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。  
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	A	D	D	B					
今後の方向性	①	①	②	②	②					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		管理コード	051134108
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成		本冊ページ	84
		施策	34	文化の振興			
	関連個別計画						
担当部局		スポーツ文化振興部					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		108	各地域における文化ホールなどの文化施設は、地域や施設の特性に応じた効率的な維持管理を行いながら、より利便性が高い利用形態への見直しや民間の専門的なノウハウの導入を図り、実演芸術の振興を核として公演の企画運営等を行い、芸術文化の創造・発信拠点としての機能を強化します。				

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価	
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性	
108-1	津リージョンプラザ管理運営事業	津リージョンプラザの管理運営	効	施設の効率的、効果的な維持運営管理を行う	◆ 利用率60%	◎	利用率: 目標値60%に対し実績値68.5%と目標値を上回ったため。 来館者数: 目標値70,000人に対し実績値53,244人となり、目標値を下回ったため。
	誰		施設利用者(市内外の人々)が	◇ 来館者数	△		
	何		教育、文化等の向上、健康並びに福祉の増進を図る場を提供する	104,145 (千円)	現状維持		
108-2	久居アルスプラザ管理運営事業	久居アルスプラザの管理運営	効	指定管理者制度を導入し、施設の効率的、効果的な維持運営管理を行う	◆ 利用率70%	◎	利用率: 目標値70%に対し実績値83.9%と目標値を大幅に上回ったため。 来館者数: 目標値85,000人に対し実績値241,344人と目標値を大幅に上回ったため。
	誰		施設利用者(市内外の人々)が	◇ 来館者数	◎		
	何		文化芸術の振興を図り、もって地域の再生及び活性化につながる場を提供する	175,183 (千円)	現状維持		
108-3	久居アルスプラザ管理運営業務	久居アルスプラザ指定管理者による自主事業の開催	効	久居アルスプラザ指定管理者が、文化芸術に関する自主事業を開催する	◆ 自主事業数	○	自主事業実施数: 要求水準書の要求回数を満たしたため。 アンケート満足度: 95.1%と高い満足度となったため。
	誰		市内外の人々が	◇ 自主事業アンケート満足度	◎		
	何		文化芸術の鑑賞等を通じて、学びや交流を促進するとともに、文化の創造と発信を行う	56,777 (千円)	現状維持		
108-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
108-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

108-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
108-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
108-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
108-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
108-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		管理コード	051134109
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成		本冊ページ	84
		施策	34	文化の振興			
	関連個別計画						
担当部局		スポーツ文化振興部、教育委員会					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		109	地域の伝統文化や伝統芸能の保存継承、普及に向けて、市民の発表や学習の場を創出し、後継者を育成します。				

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価	
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性	
109-1	霧山新能開催事業	伊勢国司北畠氏にゆかりのある能・狂言などの伝統芸能及びお茶会等を北畠神社にて開催	効	実行委員会が、歴史的資源を活用し、新能などを開催する	◆ 参加者数350人	×	令和4年10月1日(土)に開催予定であったが、コロナの影響により、開催中止。令和5年度については令和5年10月14日(土)に開催予定
	誰		市内外の人々が	◇ アンケート満足度	×		
	何		事業の鑑賞を通じて歴史や北畠氏館跡庭園などへの関心を高める	0 (千円)	現状維持		
109-2	郷土芸能ふれあいフェスティバル開催事業	各地域に伝わる郷土芸能や食文化を主とした物産を一同に集め、郷土の歴史や文化を紹介するフェスティバルを市内各地域で年1回開催	効	実行委員会が、各地域の郷土芸能や食文化を生かしたフェスティバルを開催する	◆ 参加団体数15団体	◎	令和4年度については久居アルスプラザにて開催し、参加団体数は18団体、入場率は136%を記録した。令和5年度については津リージョンプラザにて開催予定。
	誰		市内外の人々が	◇ 入場率(入場者数/会場定員*100)	◎		
	何		郷土芸能への関心を高め、地域交流を深める	1,200 (千円)	現状維持		
109-3	一身田寺内町まちづくり事業	歴史資源を後世に残していくため、国宝を中心とした寺内町の清掃や映画会を実施	効	地域住民が主体となり歴史文化資源を活用したまちづくり事業を行う	◆ 事業(春、秋の清掃・映画会等)	○	令和4年度については春、秋の清掃・ラフェスタプリマヴェラおもてなしの3事業を実施。参加者数は全事業の総数で1,000人以上を記録した。令和5年度についても各種事業実施予定。
	誰		市内外の人々が	◇ 清掃・映画会等参加者数	◎		
	何		観光誘客と地域の活性化につながる	248 (千円)	現状維持		
109-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
109-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

109-6	効	◆	(千円)	
	誰	◇		
	何			
109-7	効	◆	(千円)	
	誰	◇		
	何			
109-8	効	◆	(千円)	
	誰	◇		
	何			
109-9	効	◆	(千円)	
	誰	◇		
	何			
109-10	効	◆	(千円)	
	誰	◇		
	何			

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	<b>B</b>
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	<b>①</b>
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	<b>B</b>	<b>A</b>	<b>E</b>	<b>E</b>	<b>B</b>					
今後の方向性	<b>①</b>	<b>①</b>	<b>①</b>	<b>①</b>	<b>①</b>					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード 051134110
		施策	34	文化の振興	本冊ページ 84
関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画(平成30年度～令和4年度)			
担当部局		スポーツ文化振興部、教育委員会			
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		110	歴史資料等については、発掘・収集、適切かつ効率的な保存・管理に努め、積極的な活用・情報発信による地域内外の文化交流を進めます。		

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価	
担当課		何	◆ 事業評価の主な視点	◎ 今後の方向性			
110-1	文化財保護補助事業	文化財の保存・活用を図るための市内に存する指定文化財の保護等に関する補助	効	指定文化財所有者等が、補助金を活用し、文化財の維持管理や行事の開催、修理を行う	◆ 補助対象となる40団体の事業・活動の実施	△	新型コロナウイルス感染症の流行により、無形民俗文化財を中心に中止などの影響があったが、補助事業の件数は令和3年度の24件を上回る28件に補助金を交付した。次年度以降も引き続き補助を継続していく。
	生涯学習課		誰	指定文化財所有者等	◇ 補助対象事業の実施件数	◎	
何	文化財を保存・活用しやすくなる	決算額 (千円)	現状維持				
110-2	多気北畠氏遺跡整備活用調査研究事業	伊勢国司北畠氏の拠点である多気北畠氏遺跡の学術調査等	効	国史跡多気北畠氏城館跡の追加指定に向けて発掘調査等の学術調査を実施する	◆ 発掘調査現地説明会の実施	△	令和4年度は多気北畠氏遺跡調査指導委員会を開催し、調査研究事業について指導を受け、平成30年度と令和元年度に実施した第37・38次調査(金国寺第1・2次)の報告書を作成したが、発掘調査の実施は今後の課題となっている。
	生涯学習課		誰	市内外の人々	◇ 現地説明会への参加者数	△	
何	多気北畠氏遺跡の歴史的価値を知ること、津市の歴史・文化の普及啓発や魅力発信に繋がる	356 (千円)	拡充・充実				
110-3	市内遺跡出土遺物保存処理事業	出土品の保存処理及び希少性の高い資料の恒久化を行い市民共有の財産として公開・活用	効	保存処理により出土品を適正に保存・復元し、展示等の公開・活用事業に供することができる	◆ 保存処理対象遺物の員数	◎	令和4年度は山ノ下古墳群B支群出土の金属製品11点及び琥珀製玉4点の保存処理を実施した。保存処理が完了した遺物については、今後の展示等で活用し、その成果を市民に還元する必要がある。
	生涯学習課		誰	市や博物館等	◇ 展示等の活用件数	○	
何	保存処理された出土品を公開・活用することで、市内外に津市の歴史・文化の魅力を発信する	926 (千円)	拡充・充実				
110-4	旧明村役場庁舎整備事業	曳家による移築・耐震化を図り、文化財としての公開活用、放課後の子供たちの居場所、地域住民の活動の場としての施設整備	効	耐震補強等大規模改修工事後、地域と市が協働して文化財の維持管理や一般公開、公開活用事業を行う	◆ 年間を通じた各種事業の実施	◎	令和3年度に引き続き、地元のボランティアガイド団体や文化協会と共に土曜日・日曜日の一般公開を実施した。入館者数は令和3年度をやや下回る701人に留まったが、今後も引き続きコンサートなどの活用イベントを継続し、情報発信を続ける予定。
	生涯学習課		誰	地域と市	◇ 施設の利用者数	○	
何	文化財の維持管理や活用を通して地域の活性化を推進する	2,335 (千円)	現状維持				
110-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		



# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

110-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
110-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
110-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
110-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
110-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	<b>B</b>
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	<b>①</b>
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	C	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

